

体験活動参加型(小学校)

学校名等	組合立養基小学校
実施日時	令和6年1月28日 日曜日
会場	脛永公民館
参加人数	27名
学習課題(分野)	「まど」さんの読み聞かせと工作教室(家族の大切さ・自立心)
運営者の願い	親子で工作や読み聞かせの時間を楽しむことで、親子の時間を有意義に過ごしていただく。また「自分で道具を作り、その道具で遊ぶ」までの一連の体験が、子どものできる喜びに繋がり、家庭でも工夫を取り入れた遊びを楽しむ参考にさせていただきたいと考えた。

学習の内容

<全体の流れ>

- 読み聞かせ(「まど」さんの紹介とともに)
- マジックハンド工作
- 2グループに分かれての遊び (・紙コップつかみ ・スーパーボールつかみ)
- 閉校式(校長先生の挨拶)

<読み聞かせ>

大型絵本の読み聞かせ。想像しながら聞くという読み聞かせ。様々な読み聞かせの体験や家庭でもできる手遊びをしていただいた。「親子で読み聞かせを聞く」という機会はあまりないので、一緒に聞くことで想像を膨らますお子さんの表情を見ていただけたと思う。また、感想を親子で共有する姿もあった。難しく長いお話でも、みんな最後まで集中して聞けていた。



<マジックハンド工作>

役員の説明を聞きながら、笑顔もあり、時に真剣な表情で、工作に取り組む姿が見られた。お子さんと協力し合い、どうすれば使いやすいようになるのかと、納得がいくまで何度も作り直す姿もあり、その結果、一人一人が扱いやすく、工夫を凝らしたマジックハンドができた。



<グループ遊び>

自分で作った道具を微調整しながら、どうすれば上手に早くつかむことができるのか、親子で話し、協力し、工夫する様子がたくさん見られ、有意義な時間を過ごせた。今後も、各ご家庭で「一緒に、工夫した遊び」の時間を設けていただけるとよいと感じた。



<参加者の感想>

- ・ マジックハンド作製は少し難しかったが、お友達と教え合いながら、楽しく作ることができた。
- ・ 普段は工作をしない子が、一生懸命に割り箸と輪ゴムと格闘していてびっくりした。
- ・ マジックハンドで紙コップを積み遊びで先生と児童のやり取りを見ることができた。
- ・ 参観日とはまた違った姿を見ることができてよかった。
- ・ 校長先生のお話で、先生が何を大切にされているのか聞く事ができてよかった。



役員・学校・地域の連携

「子供たちのために」という思いで、役員・学校・公民館・講師等に協力していただけた。同じ気持ちで企画し、親子で楽しめる取組や、段取り、準備、当日の運営をスムーズに行い、同じ思いで連携が取れることで、親子ともに安心できる環境(地域)だと改めて感じることができた。



少しだけ難易度が高い工作は、親子で取り組むというテーマに丁度よく、協力する中で「ありがとう」という言葉が聞こえる等、感謝の気持ちが自然と生まれたように感じた。子どもが集中している表情。親子で一つの事に取り組む姿。楽しく遊ぶ時間。どれもが、親子にとって、とても有意義なものと感じられた。